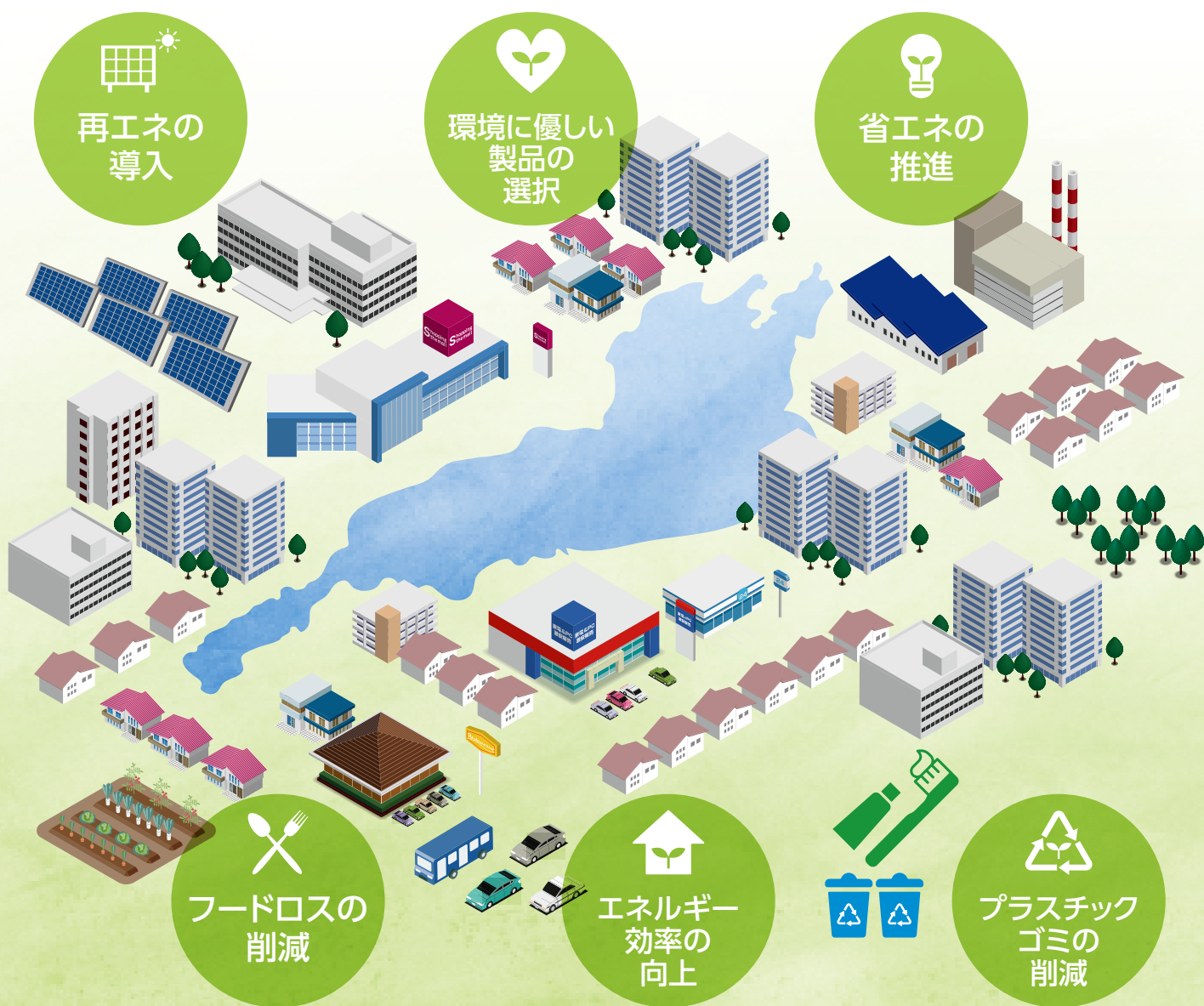


組合で取り組む CO₂ ネットゼロ

2022年4月1日に「滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」が施行されました。この条例は、県と県内の事業者および県民が連携して2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しながら、持続可能な社会の実現に向けて挑戦するものです。

個々の企業の小さな取り組みでも組合で行えばスケールメリットを活かした効果が期待できます。その事例として滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合のCO₂ネットゼロの取り組みをご紹介します。



滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合は、滋賀県内で宿泊業を営む203社（2023年2月現在）で構成される組合です。環境推進県である滋賀県の宿泊事業者として、組合で何か取り組むことはできないかと考え、2022年1月に環境と観光の共生を目指し、SDGs行動宣言を発表されました。

組合のSDGs行動宣言

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 SDGs行動宣言

【滋賀県旅館・ホテルの2030年「目指す姿」】

環境と観光の共生地 ～琵琶湖を守り、琵琶湖と遊ぶ～

【行動指針】

- ① 環境の視点 プラスチックごみの削減（歯ブラシ）
- ② 社会の視点 近江文化継承＜食文化・地場産品の活用／地域連携の強化＞（米・酒・茶）
- ③ 経済の視点 SDGs（MLGs）に係る宿泊プラン販売による単価アップ

【具体的な数値目標】

- ① 環境の視点 2030年までに **アメニティのプラスチックゴミ** を **0** にする
- ② 社会の視点 2030年までに **滋賀県産食材の使用量** を **50%** にする
- ③ 経済の視点 2030年までに **客室料（2019年度比較）** を **+20%** にする



最も使用量が多い歯ブラシを無くすことができれば
アメニティ全体の削減につながる

組合はSDGs行動宣言で、2030年までに宿泊客に提供するアメニティのプラスチックゴミをゼロにすることを目標に掲げています。しかし、宿泊業にとって、おもてなしの一環であるアメニティのサービスを廃止することは簡単ではありません。そこで、最も使用ニーズが高い歯ブラシに焦点を当てて削減の意義を見出し、推進に取り組みました。

組合内で調査

具体的には、組合員企業が年間に使用する使い捨て歯ブラシの使用本数を調査しました。⇒2,473,439本（コロナ禍前の2019年度使用分）

（組合員アンケートより算出）

産学連携による実態把握

産学連携により専門家に依頼して使い捨て歯ブラシの製造と焼却処分時に発生するCO₂排出量を算出。組合員企業が年間に使用した使い捨て歯ブラシの使用本数を乗じることで年間のCO₂排出量の実態把握を行いました。⇒151.27t-CO₂/年（2019年度）

（龍谷大学 水原講師算出）

CO₂排出量削減の見える化

今後は、一度使用しただけで廃棄するアメニティのプラスチックゴミをゼロにするために、使用量の削減もCO₂排出量の削減も見える化していきます。

組合独自のCO₂ネットゼロに向けた啓発活動

メッセージカードを作成しました!

滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 SDGs行動宣言

環境と観光の共生地 ～琵琶湖を守り、琵琶湖と遊ぶ～

訪れるお客様が滋賀・琵琶湖での滞在や体験によって心から楽しみ、満喫していただくことで、このかけがえのない琵琶湖(取り巻く環境)と長年培ってきた文化を守る仕組みを作り、環境と観光が共生する心温まる地として「選ばれる滋賀」を目指します。

2030年までの行動指針・目標

私たちは地球温暖化を防止し、美しい琵琶湖を未来に引き継ぐため「プラスチックゴミの削減」に組合員全員で取り組み、宿泊施設で提供されるアメニティによるプラスチックゴミを0にします。



この用紙はびわ湖のヨシを20%含有しています。

ご宿泊の皆さまへ

当施設では

- 1. プラスチック製アメニティを設置しておりません。
- 2. プラスチック含有率の低いアメニティの設置に切り替えております
- 3. 今後、1や2の取り組みに移行していく予定です。

滋賀県が世界に誇るマザーレイク・琵琶湖。私たちは琵琶湖から多くの恵みを得るとともに、大切に守り続けてきました。今、世界は様々な環境問題を抱えており、琵琶湖も例外ではありません。増えつつある自然災害とも向き合いながら、美しい琵琶湖を未来に引き継ぐために何をすべきなのか。私たちはここに「SDGs 行動宣言」を行い、目標を定めて取り組みを始めます。なにとぞ本宣言の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜れば幸いです。

このメッセージカードは、「滋賀県プラスチックごみ・食品ロス削減等実践取組モデル事業補助金」を用いて作成しております。

それぞれの施設で該当する部分に
し点を打って客室に設置しています

アメニティのプラスチックゴミを0に

宿泊施設が提供するプラスチック製アメニティの削減には、お客様の理解と協力が不可欠です。組合では、客室に設置するメッセージカードを作成して独自の啓発活動にも取り組んでいます。プラスチックが悪いのではなく、一度使っただけで廃棄するプラスチック製品を減らしていきたいという組合の取り組みは、持続可能な社会の実現に向けて今後、益々求められていくものと思われま

滋賀県産食材の使用量50%に向上

組合のSDGs行動宣言では、このようなプラスチック製アメニティの削減に加えて、2030年までに組合員の施設で使用する滋賀県産食材の使用量を50%まで高める目標を掲げています。この取り組みが進めば、食材の輸送にかかっていたCO₂排出量の削減も期待ができます。

SDGsの
推進

CO₂ネットゼロへ

ポイント

- これまで当たり前であった使い捨てアメニティの提供を見直す必要に気が付き、組合組織として取り組みをスタートさせた。
- 組合員個社でのCO₂削減量は大きなものではないが、組合組織で取り組むことにより大きな成果となる。
- CO₂の削減は社会が求めており、出来ることから地道に取り組めば長期的に必ず自分達のメリットになる。

組合ホームページ <https://www.shiga-ryokan-kumiai.jp/sdgs>



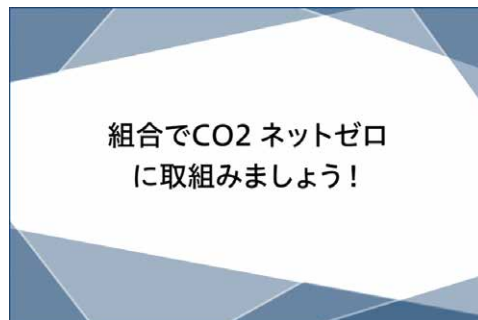
中央会オンライン研修動画のご案内

「組合で取り組むCO₂ネットゼロ」については、
当会のHPでも動画を公開しております。併せて
ご覧ください。

配信ページ

滋賀県中央会 オンライン動画

検索



内容

- ① 滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合の取り組みについて
- ② 龍谷大学先端理工学部水原講師によるCO₂排出削減量の算定について
- ③ 国(経済産業省)のカーボンニュートラルの取り組みについて
- ④ 滋賀県のCO₂ネットゼロの取り組みについて

滋賀県のウェブサイト「ゼロナビしが」のご案内

滋賀県では、CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に向けて「ゼロナビしが」を開設しています。こちらのサイトは、行動変容を促す「省エネ効果の見える化シミュレーション」や、ウェブサイト上で情報交換ができる機能を備えています。

この機会に是非ご覧ください

ゼロナビしが

検索



発行人

滋賀県中小企業団体中央会

〒520-0806 大津市打出浜2番1号 コラボしが21 5階

TEL:077-511-1430 FAX:077-502-0111

<https://chuokai-shiga.or.jp>

令和5年2月発行